

刊行に当たって

運輸総合研究所は、日本の官産学の各界の支援の下、独立した非営利の研究機関として1968年に設立されて以来、今日まで、交通運輸及び観光に関する研究調査や政策提言、セミナー等の開催などに取り組んでまいりました。

また、昨年4月には、タイのバンコクにアセアン・インド地域事務所（AIRO）を開設し、東京の本部と米国のワシントン国際問題研究所（JITTI）及びAIROが一体となって、北米から東南アジア・南アジアまでのインド・太平洋地域を視野に入れた、広域的かつ戦略的な活動を実施しています。

機関誌「運輸政策研究」は、1998年7月に発刊した学術論文集であり、「学会賞選考委員会の定める研究雑誌」として日本交通学会の論文賞審査対象論文掲載誌に指定されているとともに、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルプラットフォーム「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)に登録されています。

本誌は、特に、「学術研究と実務的要請の橋渡し」という当研究所の一貫した設立の理念に立脚し、「世の中の役に立つ」、「使いものになる」内容にすべく、厳正な査読及び編集委員会における審議を経て、交通運輸及び観光に関する論文等を掲載しています。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症による深刻な影響、脱炭素社会の実現に向けた交通システムの再構築の必要性、新しいモビリティサービスやデジタルトランスフォーメーションへの期待等、昨今、交通運輸及び観光を取り巻く環境は著しく変化しています。

このような状況において、全世界共通の目標であるSDGsを踏まえ、グローバルな視点から、交通運輸及び観光分野において新しいニーズに対応した持続可能なシステムを一刻も早く構築する必要があります。

本誌は、この厳しい現状を直視しつつ、交通運輸及び観光に関する研究や政策、実務などに携わる皆様から論文等を多数投稿いただいた上で厳選し、これまで以上にクオリティの高い内容となるよう、さらに専心努力する所存ですので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

一般財団法人運輸総合研究所会長

宿利 正史